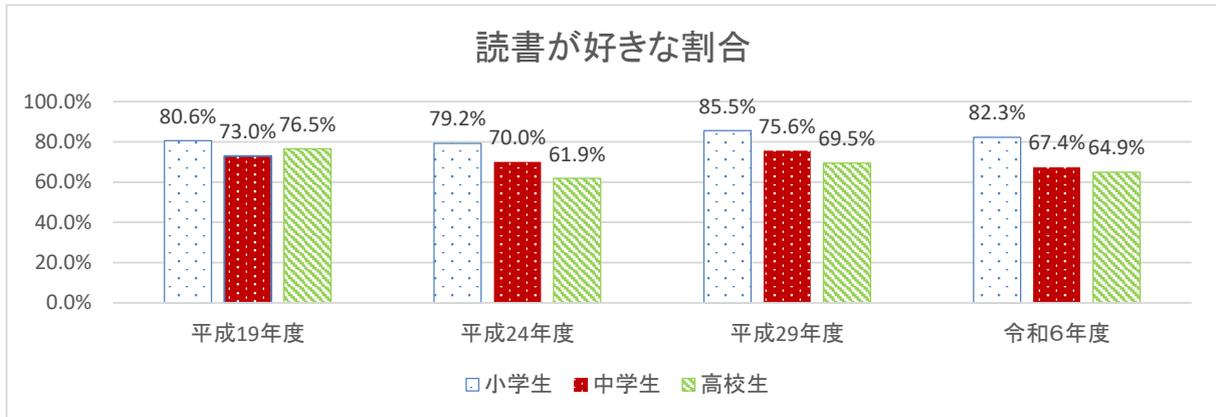


伊賀市子どもの読書活動に関するアンケート調査結果(児童生徒:抽出)

○あなたは、本を読むのが好きですか。(問1)

<「好き」「どちらかという好き」と回答した割合>

区分	平成19年度	平成24年度	平成29年度	令和6年度
小学生	80.6%	79.2%	85.5%	82.3%
中学生	73.0%	70.0%	75.6%	67.4%
高校生	76.5%	61.9%	69.5%	64.9%

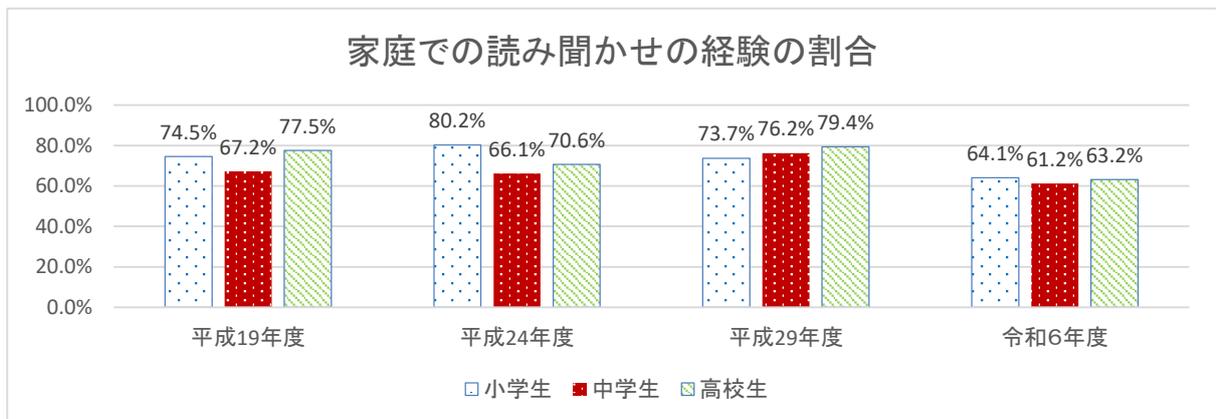


本を読むことについて、令和6年度調査では「好き」「どちらかという好き」を合わせた割合は、小学生は80%を超えています。中学生・高校生は60%代に留まっています。また、小・中・高校生とも、平成29年度調査より割合が下がっています。

○小さい頃、家で本を読んでもらっていましたか。(問2-2)

<「はい」と回答した割合>

区分	平成19年度	平成24年度	平成29年度	令和6年度
小学生	74.5%	80.2%	73.7%	64.1%
中学生	67.2%	66.1%	76.2%	61.2%
高校生	77.5%	70.6%	79.4%	63.2%

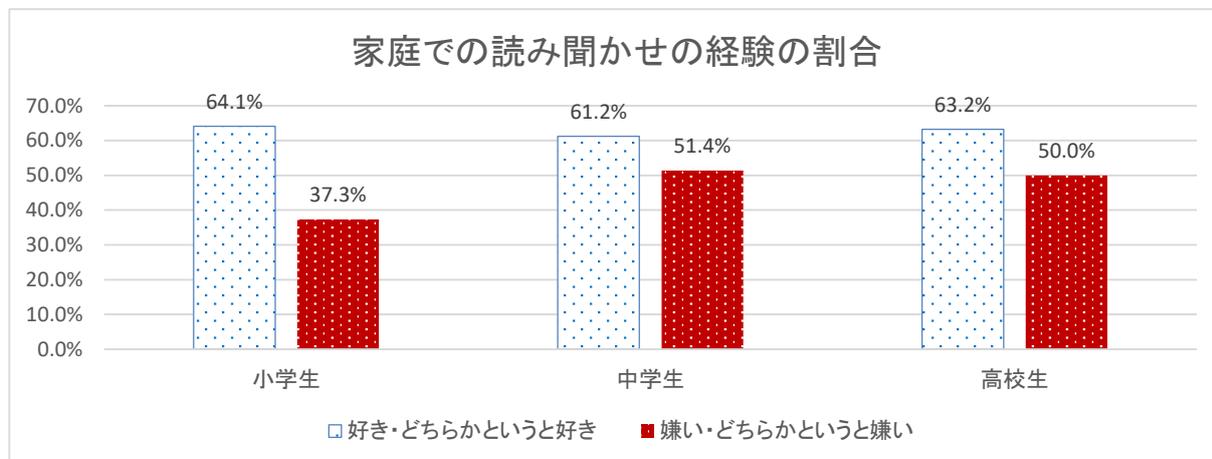


読書が「好き」「どちらかという好き」と答えた児童生徒の家庭における読み聞かせの経験について、令和6年度調査の割合は平成29年度調査よりも大きく落ち込んでいます。

○小さい頃、家で本を読んでもらっていましたか。(問2-2、問3-2)

<「はい」と回答した割合>

区分	好き・どちらかという好き	嫌い・どちらかという嫌い
小学生	64.1%	37.3%
中学生	61.2%	51.4%
高校生	63.2%	50.0%

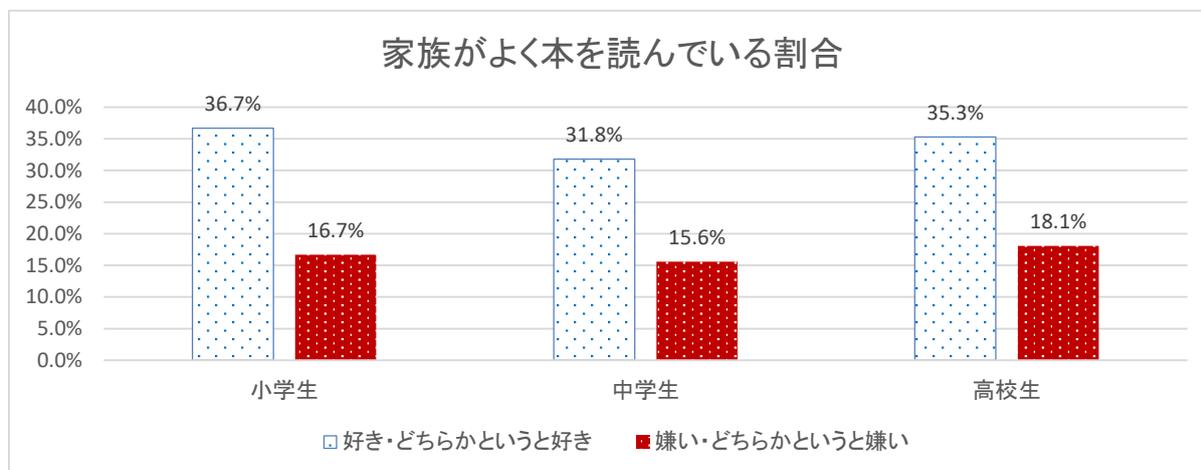


小さい頃の家庭における読み聞かせの経験について、読書が「好き」「どちらかという好き」と答えた小・中・高校生の割合が、「嫌い」「どちらかという嫌い」と答えた割合を上回っています。読み聞かせの経験が、本人の読書に対する好感度に繋がっていると考えられます。

○家の人は、よく本を読んでいますか。(問2-3、問3-3)

<「はい」と回答した割合>

区分	好き・どちらかという好き	嫌い・どちらかという嫌い
小学生	36.7%	16.7%
中学生	31.8%	15.6%
高校生	35.3%	18.1%

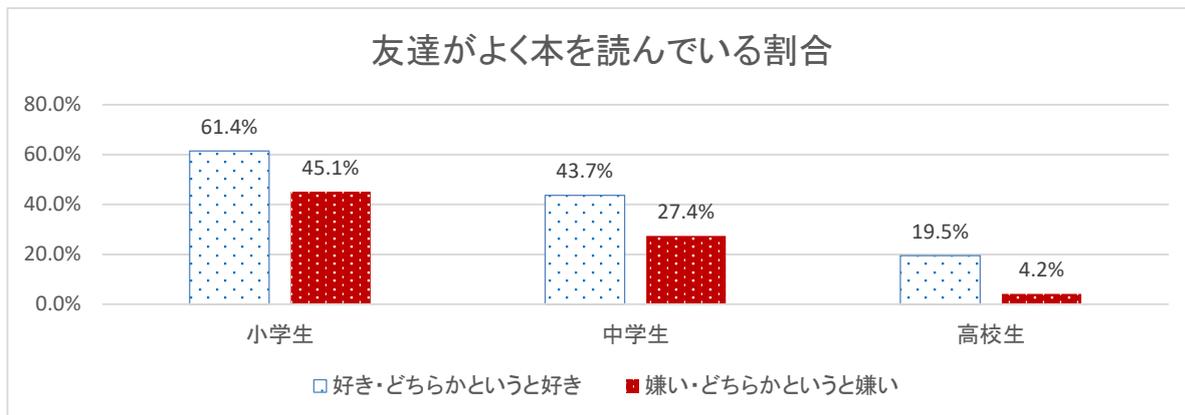


家族の読書の状況について、読書が「好き」「どちらかという好き」と答えた小・中・高校生の割合が、「嫌い」「どちらかという嫌い」と答えた割合を大きく上回っています。家族の読書の状況が、本人の読書に対する好感度に大きく影響していると考えられます。

○友達は、よく本を読んでいますか。(問2-4、問3-4)

<「はい」と回答した割合>

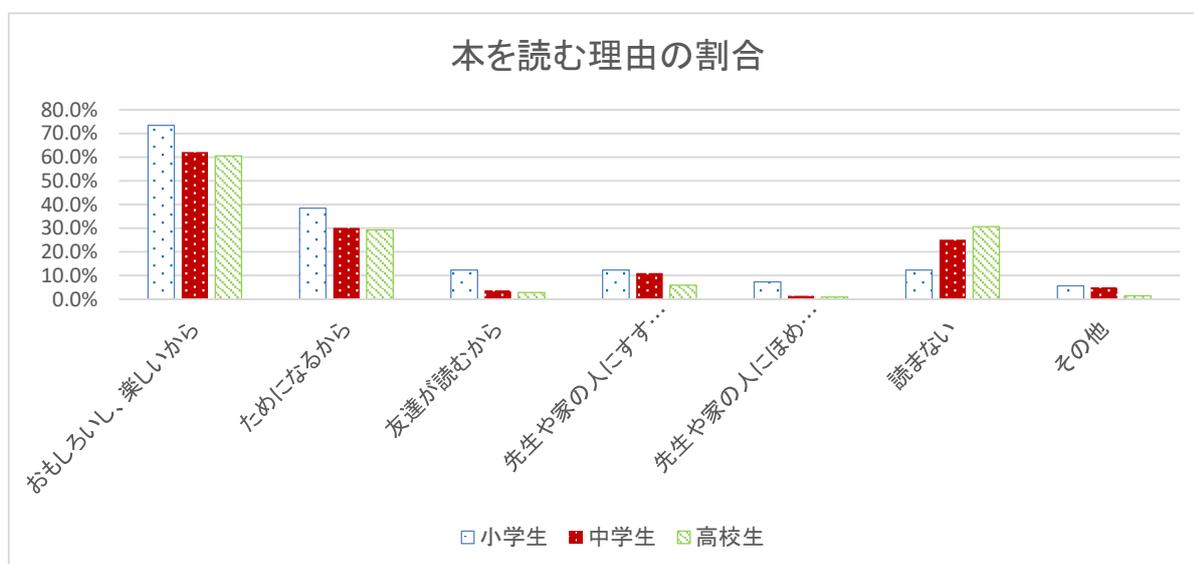
区分	好き・どちらかという好き	嫌い・どちらかという嫌い
小学生	61.4%	45.1%
中学生	43.7%	27.4%
高校生	19.5%	4.2%



友達の読書の状況について、読書が「好き」「どちらかという好き」と答えた小・中・高校生の割合が、「嫌い」「どちらかという嫌い」と答えた割合を上回っています。友達の読書の状況が、本人の読書に対する好感度に影響していると考えられます。

○あなたが本を読むのはどうしてですか。(問5)

区分	小学生	中学生	高校生
おもしろい、楽しいから	73.4%	62.2%	60.5%
ためになるから	38.5%	30.2%	29.3%
友達が読むから	12.3%	3.8%	2.9%
先生や家の人にすすめられるから	12.3%	11.1%	5.9%
先生や家の人にほめられるから	7.4%	1.5%	1.0%
読まない	12.3%	25.1%	30.7%
その他	5.7%	5.1%	1.5%

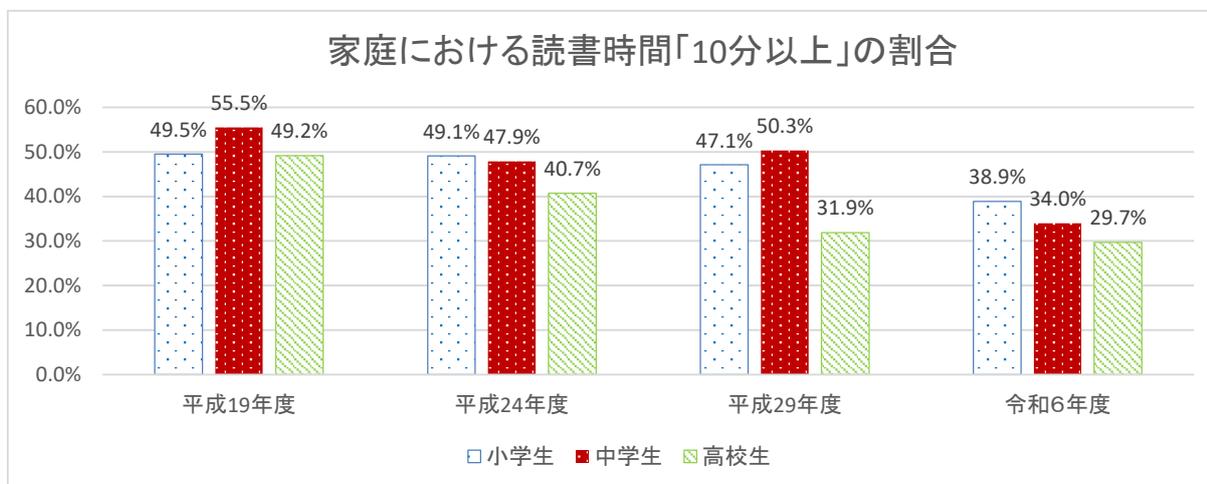


本を読む理由では、小・中・高校生とも「おもしろい、楽しいから」の割合が一番高くなっています。読書による「おもしろい」「楽しい」経験が、読書習慣の形成につながる人が多いと考えます。

○あなたは、家で1日何分くらい本を読みますか。(問6)

<「10分から30分まで」「30分から60分まで」「60分以上」と回答した割合>

区分	平成19年度	平成24年度	平成29年度	令和6年度
小学生	49.5%	49.1%	47.1%	38.9%
中学生	55.5%	47.9%	50.3%	34.0%
高校生	49.2%	40.7%	31.9%	29.7%

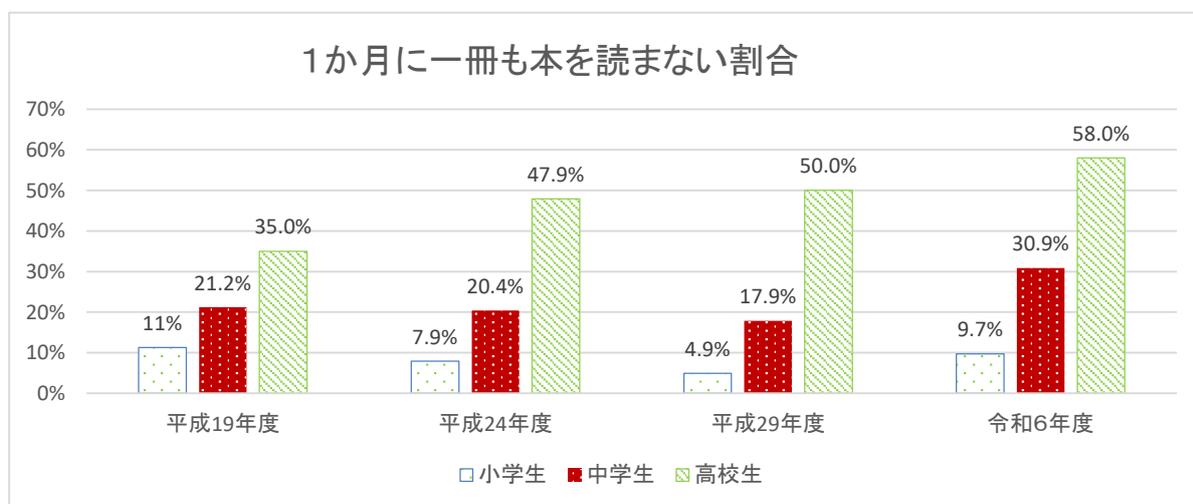


家庭で「10分以上」読書をした割合は、小・中学生は平成29年度より大きく落ち込んでいます。また、高校生は30%を切っており、小・中・高校生とも家庭において読書に親しむ時間が大変短いことが明らかです。

○あなたは、1か月で平均何冊の本を読みますか。(問7)

<0冊と回答した割合(不読率)>

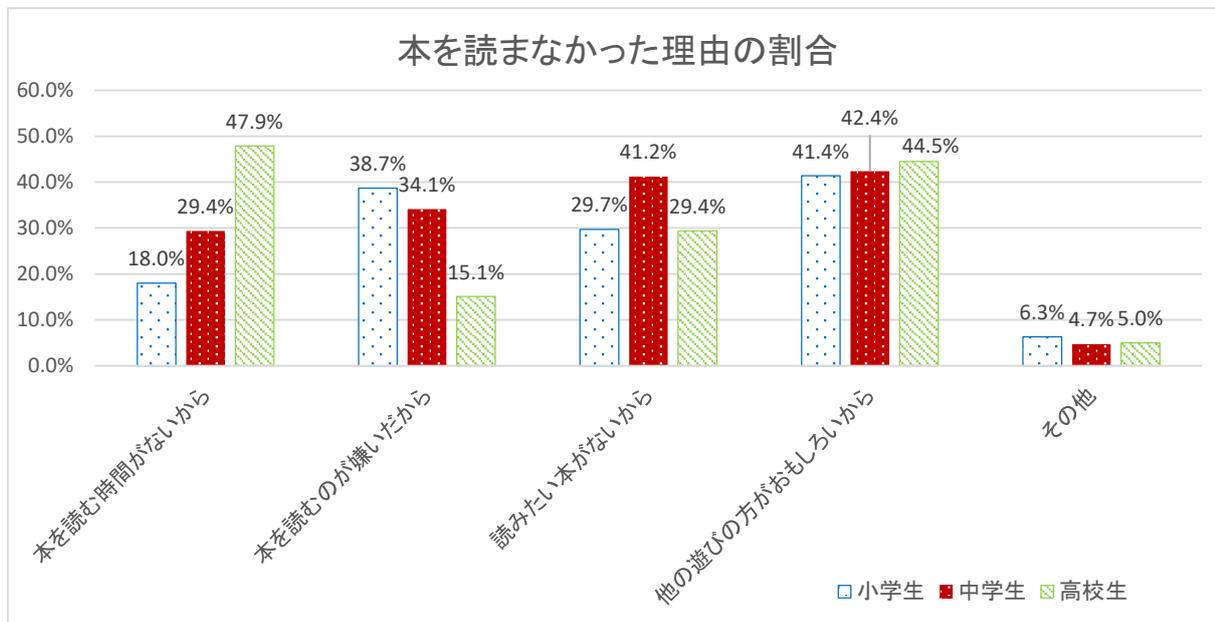
区分	平成19年度	平成24年度	平成29年度	令和6年度
小学生	11%	7.9%	4.9%	9.7%
中学生	21.2%	20.4%	17.9%	30.9%
高校生	35.0%	47.9%	50.0%	58.0%



小・中学生は平成29年度調査で不読率がやや改善されたものの、令和6年度に大幅に増えています。高校生は調査のたびに不読率が増え、令和6年度は58.0%と高い数値になり、読書離れの実態が顕著に表れています。

○本を読まなかったのはなぜですか。(問8)

区分	小学生	中学生	高校生
本を読む時間がないから	18.0%	29.4%	47.9%
本を読むのが嫌いだから	38.7%	34.1%	15.1%
読みたい本がないから	29.7%	41.2%	29.4%
他の遊びの方がおもしろいから	41.4%	42.4%	44.5%
その他	6.3%	4.7%	5.0%

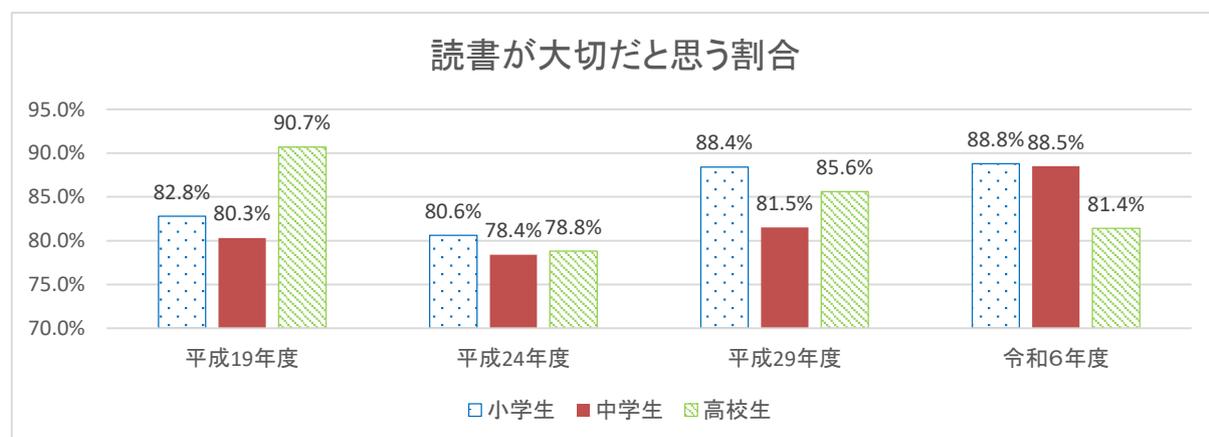


本を読まなかった理由では、小・中学生とも「他の遊びの方がおもしろいから」の割合が、高校生は「本を読む時間がないから」の割合が一番高くなっています。

○あなたは、本を読むことは大切だと思いますか。(問10)

<「大切だと思う」「どちらかといえば大切だと思う」と回答した割合>

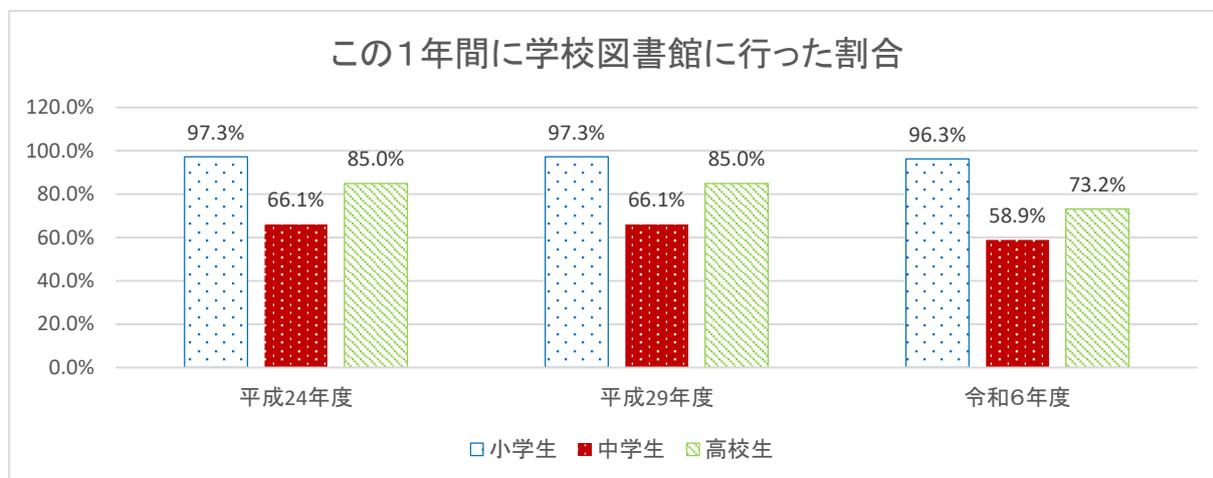
区分	平成19年度	平成24年度	平成29年度	令和6年度
小学生	82.8%	80.6%	88.4%	88.8%
中学生	80.3%	78.4%	81.5%	88.5%
高校生	90.7%	78.8%	85.6%	81.4%



本を読むことについて、「大切だと思う」「どちらかといえば大切だと思う」を合わせた割合は小・中・高校生とも高い割合で推移していますが、実際の読書活動にはつながりきれていない実態があります。

○あなたは、この1年間に学校の図書館に行ったことがありますか(問12)
 <「はい」と回答した割合>

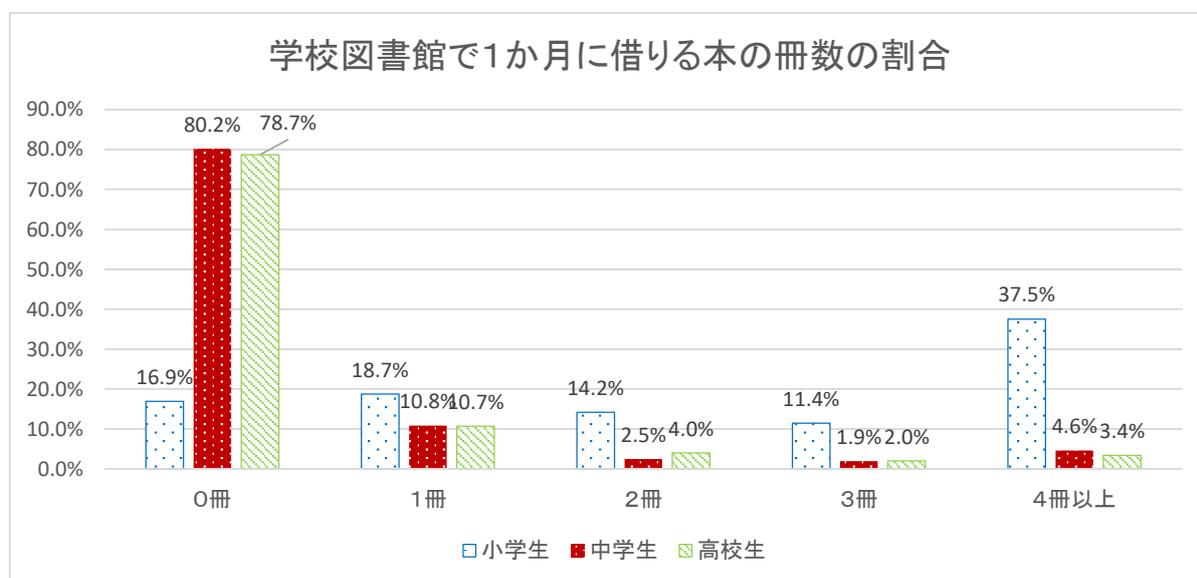
区分	平成24年度	平成29年度	令和6年度
小学生	97.3%	97.3%	96.3%
中学生	66.1%	66.1%	58.9%
高校生	85.0%	85.0%	73.2%



学校図書館の利用率を見ると、小学生は高い割合で推移していますが、中学生の利用率が非常に低い状況です。高校生は令和6年度調査で、平成29年度調査から11.8ポイントも下がっています。

○1か月で、だいたい何冊の本を学校図書館で借りますか。(問13-2)

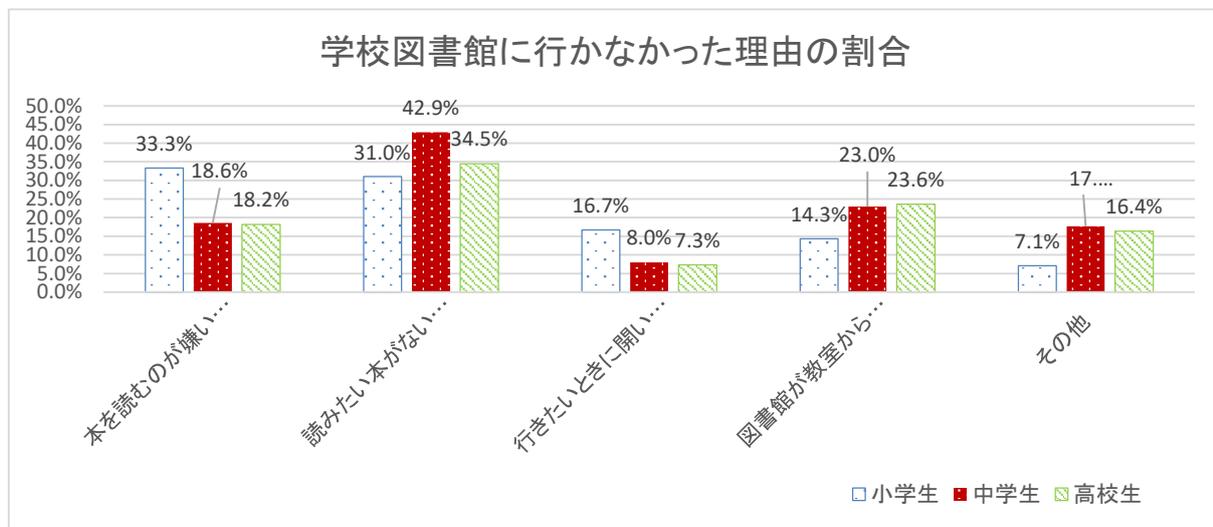
区分	0冊	1冊	2冊	3冊	4冊以上
小学生	16.9%	18.7%	14.2%	11.4%	37.5%
中学生	80.2%	10.8%	2.5%	1.9%	4.6%
高校生	78.7%	10.7%	4.0%	2.0%	3.4%



小学生については、1ヶ月に学校図書館で借りる本の冊数で、4冊以上の割合が一番高くなっています。中学生及び高校生では、全く借りない割合がほぼ80%と非常に高い数値になっています。

○学校の図書館に行かなかった理由は何ですか。(問14)

区分	小学生	中学生	高校生
本を読むのが嫌いだから	33.3%	18.6%	18.2%
読みたい本がないから	31.0%	42.9%	34.5%
行きたいときに開いてなかったから	16.7%	8.0%	7.3%
図書館が教室から遠いから	14.3%	23.0%	23.6%
その他	7.1%	17.7%	16.4%

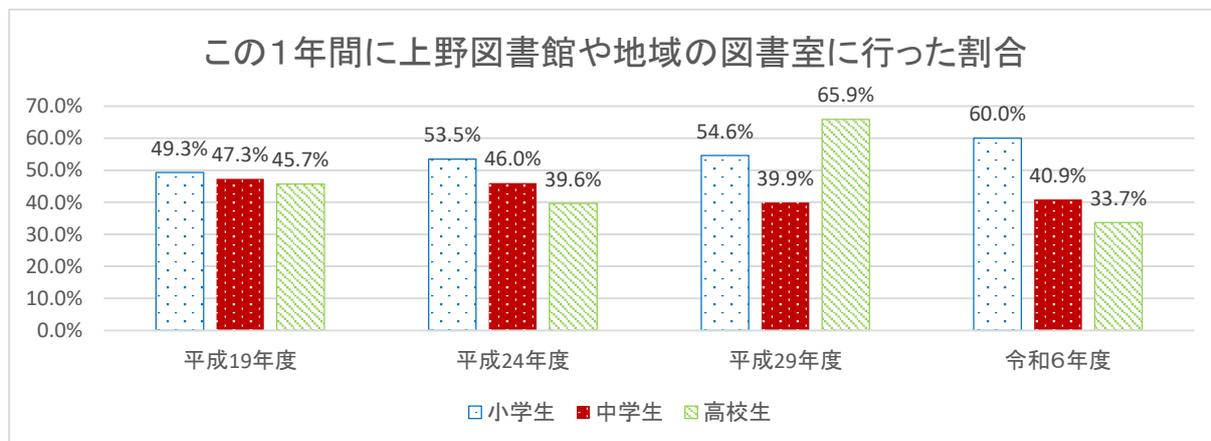


学校図書館に行かなかった理由をみると、中・高校生においては、「読みたい本がないから」の割合が一番高い数値になっています。生徒のニーズにあった書籍や、教科の内容に関連した書籍を購入するなど、工夫が求められます。

○あなたは、この1年間に上野図書館や地域の図書室に行ったことがありますか。(問15)

<「はい」と回答した割合>

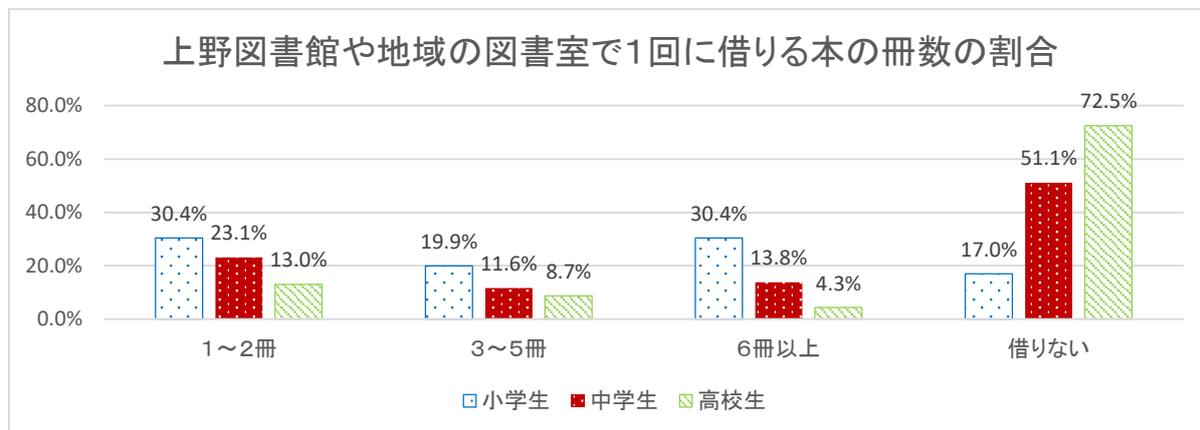
区分	平成19年度	平成24年度	平成29年度	令和6年度
小学生	49.3%	53.5%	54.6%	60.0%
中学生	47.3%	46.0%	39.9%	40.9%
高校生	45.7%	39.6%	65.9%	33.7%



上野図書館や地域の図書室に行った割合を令和6年度調査と平成29年度調査を比べると、小学生は5ポイント余り向上し、中学生はほぼ同じ、高校生は大きく落ち込んでいます。また、中・高校生の利用率が低いことも明らかです。

○上野図書館や地域の図書室では、1回に平均して何冊の本を借りますか。(問16-2)

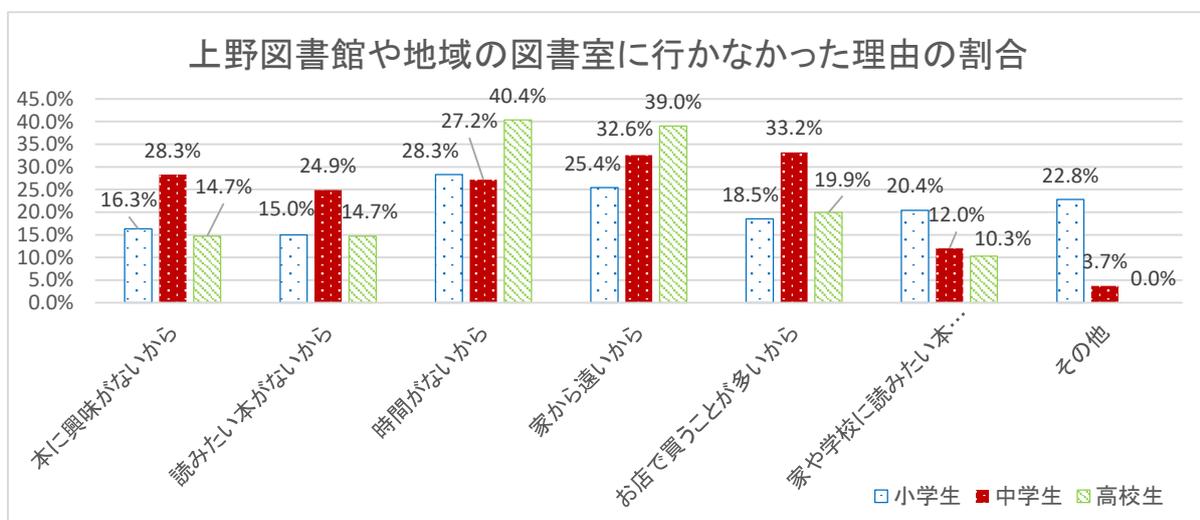
区分	1～2冊	3～5冊	6冊以上	借りない
小学生	30.4%	19.9%	30.4%	17.0%
中学生	23.1%	11.6%	13.8%	51.1%
高校生	13.0%	8.7%	4.3%	72.5%



小学生は、上野図書館や地域の図書室で1回に「6冊以上」本を借りる割合が30.4%と高い数値になっています。中・高校生は「借りない」割合が突出しており、中学生で50.1%、高校生では72.5%と高い数値になっています。

○上野図書館や地域の図書館に行かなかったのはどうしてですか。(問17)

区分	小学生	中学生	高校生
本に興味がないから	16.3%	28.3%	14.7%
読みたい本がないから	15.0%	24.9%	14.7%
時間がないから	28.3%	27.2%	40.4%
家から遠いから	25.4%	32.6%	39.0%
お店で買うことが多いから	18.5%	33.2%	19.9%
家や学校に読みたい本があるから	20.4%	12.0%	10.3%
その他	22.8%	3.7%	0.0%



上野図書館や地域の図書室に行かなかった理由をみると、小学生と高校生は「時間がないから」、中学生は「お店で買うことが多いから」が一番高い割合になっています。また、小・中・高校生とも「家から遠いから」が二番目に高い割合になっています。

○伊賀市にどんな図書館があったらいいと思いますか。(問18)

<小学校2年生>(82件)

- ・検索した本が出てくる図書館
- ・楽しい本や夢中になる本を置いたらいいと思う。
- ・大きくて静かな図書館
- ・ソファがあって、落ち着ける図書館
- ・スタバ併設図書館
- ・本を読みながらお菓子やジュースが飲める図書館
- ・読み聞かせがあるところ
- ・子ども新聞がある図書館
- ・階段がたくさんある図書館。高いところにある本も届きやすい。

<小学校5年生>(510件)

- ・本の種類が多く、子どもが楽しめるスペースがあるような図書館がいいです。
- ・キッズスペースなど遊べるところがあったらいいと思います。
- ・本を一人一人読めるカウンターのようなものがあっていい。
- ・幼稚園児コーナー、小学生コーナー、中学生コーナー、高校生コーナー、大人の人コーナーと、部屋を分ける。
- ・子ども用のいすなど、年齢に合わせたものが置いてある。
- ・勉強できるスペースをもっとほしい。
- ・ゆったり、ゆったりできる静かな図書館がいいです。
- ・静かに安心した図書館がいい。
- ・ポルトガル語の本がたくさんある図書館
- ・外国の本がある図書館
- ・大きい本がある図書館
- ・カフェがついていて、カフェで本が読める図書館
- ・最近、視力が悪い人が多いから、電気がもっと明るい図書館
- ・障がいを持っている人でも本を読みやすい図書館
- ・字が読めない人も楽しく本を読める図書館があるといい。
- ・Wi-Fiがつながる図書館
- ・小さな子どもに読み聞かせをしてくれる図書館
- ・なるべく誰でも、最低20分にある近い図書館
- ・移動図書館

<中学校2年生>(342件)

- ・過ごしやすい静かな図書館
- ・落ち着いて本を読める。
- ・明るい感じで、本の壁がある(落ち着くから)。
- ・行きやすく、勉強スペースもある図書館があったらいいと思う。
- ・ユニバーサルデザインが施された図書館
- ・図書館は伊賀市中心部(旧上野市)だけにあるだけでなく、旧市町村の区域ごとにあつたらよい。
- ・誰もが行きたくなるような写真映え、おしゃれなカフェみたいなくつろぎながら読める場所
- ・移動図書館を、今ある図書館から遠いところで開けばよいと思う。
- ・本の種類が多くて衛生管理ができています。
- ・駐車場の広い図書館があればいいな。
- ・違う国の言葉が書いてある本(ポルトガル語、英語など)
- ・他の言語の本

<高校2年生>(71件)

- ・自習室が整っている図書館
- ・勉強や飲食ができるカフェのような図書館
- ・フリースペースがほしい。
- ・意外と若い人の方が読む頻度が少ないと思うから若い世代が入りやすい雰囲気のお店を作る(カフェなども作る)。
- ・本のジャンルが多く、老若男女が使いやすく、気軽に本について聞ける人がいるような場所